

平成30年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 額 (決算-予算) | 備 考 |
|---------------------|-------|-------|----------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 5,016 | 4,899 | △ 117 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 167 | 141 | △ 26 | (注2) |
| 補助金等収入 | 217 | 290 | 73 | (注3) |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 | 21 | 21 | 0 | |
| 自己収入 | 2,314 | 2,321 | 7 | |
| 授業料、入学金及び検定料収入 | 2,236 | 2,230 | △ 6 | (注4) |
| 雑収入 | 78 | 91 | 13 | (注5) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 807 | 670 | △ 137 | (注6) |
| 引当金取崩 | 0 | 0 | 0 | (注7) |
| 目的積立金取崩 | 21 | 18 | △ 3 | (注8) |
| 計 | 8,562 | 8,359 | △ 203 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 7,351 | 6,992 | △ 358 | (注9) |
| 教育研究経費 | 7,351 | 6,992 | △ 358 | |
| 施設整備費 | 188 | 162 | △ 26 | (注10) |
| 補助金等 | 217 | 285 | 68 | (注11) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 807 | 652 | △ 154 | (注12) |
| 計 | 8,562 | 8,091 | △ 470 | |
| 収入-支出 | 0 | 268 | 268 | |

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、計画時に見積もっていた次年度への繰越額が増加したことに伴い、予算額に比して決算額が117百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった国への補助金の返還があったため、予算額に比して決算額が26百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が73百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として当初の見込より志願者数及び入学者数が少なかったことに伴い、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として学校財産貸付料が予定より増加したことに伴い、予算金額に比して決算額が13百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等収入及び寄附金収入等については、産学連携収入が当初の予定より減少したことに伴い、予算金額に比して決算額が137百万円少額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、該当ありません。
- (注8) 目的積立金取崩については、当初予定していた教育研究環境整備事業の計画変更等により、目的積立金の取崩額が減額となったため、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことに伴い、予算金額に比して決算額が358百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費補助金については、国からの補助金を平成30年度末に一端国庫に返納する必要があったことに伴い、予算金額に比して決算額が26百万円少額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が68百万円多額となっています。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算額が154百万円少額となっています。